

## 「09年新入社員意識調査」より

### 「意欲・やる気」を持って、与えられた仕事には“一生懸命に”

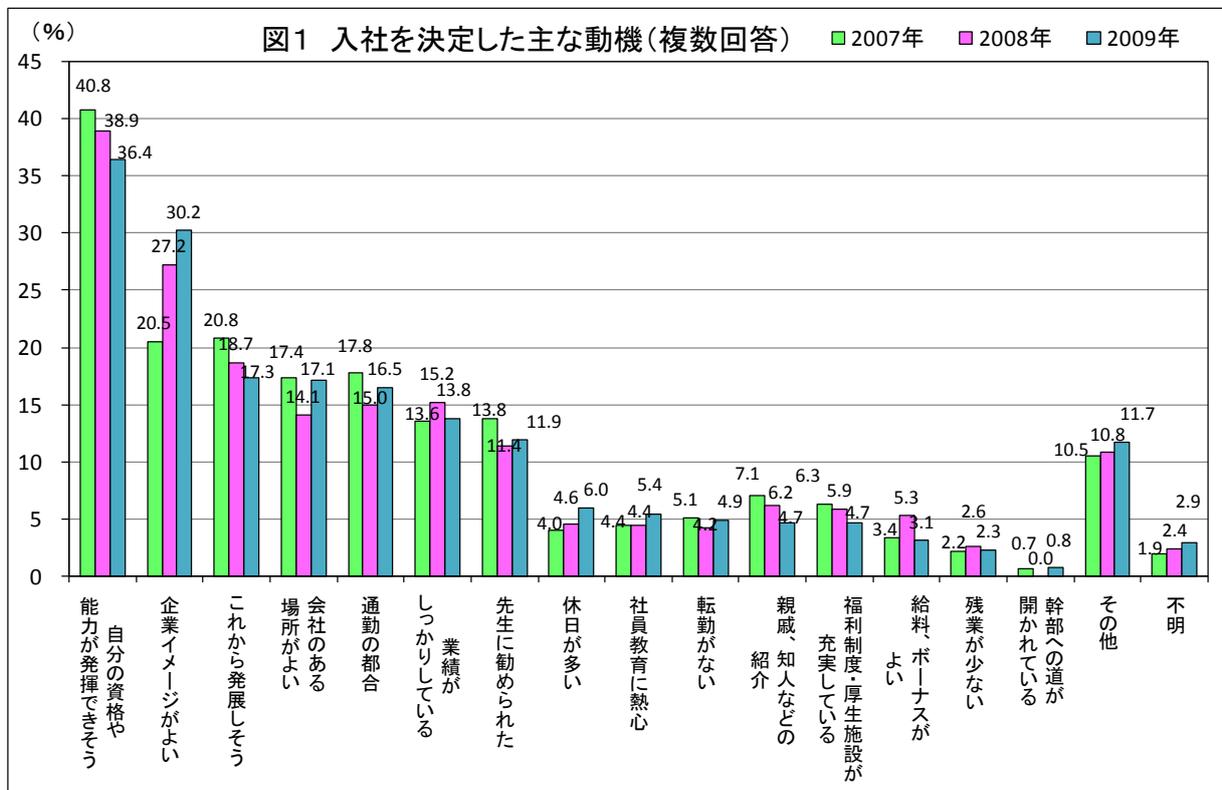
昨年秋からの景気後退に伴う派遣社員の解雇や内定取り消しなど雇用に関する暗いニュースが続いている。こうした厳しい環境のなか、新入社員はそれぞれが選んだ企業で、社会人として新たな一歩を踏み出した。

当社では、毎年3月から4月にかけて、県内企業の新入社員を対象にアンケート調査を実施している。今年の調査結果（有効回答数 514 名、うち男性 262 名、女性 252 名）から、新入社員の仕事に対する意識をみてみたい。

### 入社の一動機は「自分の資格や能力が発揮できそう」が最多

「入社を決定した主な動機」を尋ねたところ、「自分の資格や能力が発揮できそう」が 36.4% で最も多く、次いで、「企業イメージがよい」(30.2%)、「これから発展しそう」(17.3%) となった(図1)。

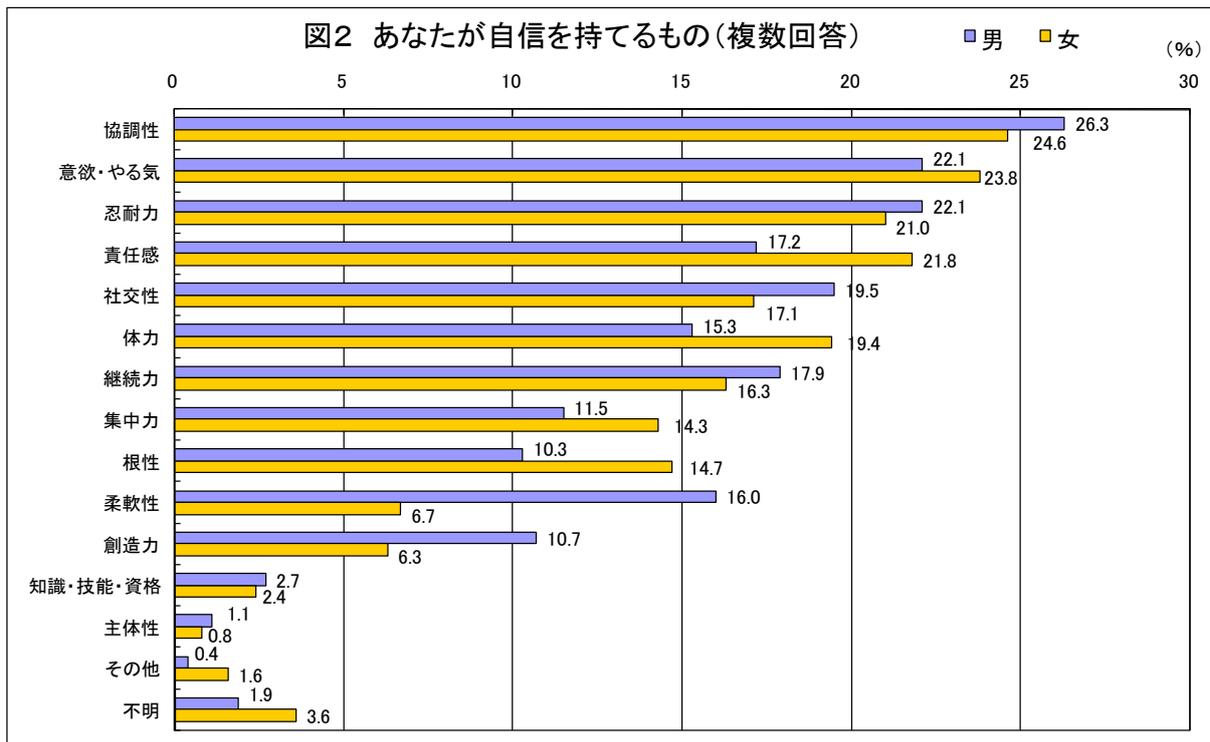
昨年引き続き、「自分の資格や能力が発揮できそう」「これから発展しそう」との回答は減少し(それぞれ 40.8%→38.9%→36.4%、20.8%→18.7%→17.3%)、「企業イメージがよい」は増加した(20.5%→27.2%→30.2%)。企業のイメージを重視する傾向が強まっている。



## 「意欲・やる気」が高く、「協調性」に自信あり

次に、「社会人として必要なもののうち、あなたが自信を持てるもの」との問いには、男女とも「協調性」が最も多く（男性 26.3%、女性 24.6%）、次いで、男性は「意欲・やる気」「忍耐力」（ともに 22.1%）、女性は「意欲・やる気」（23.8%）、「責任感」（21.8%）と続いた（図 2）。

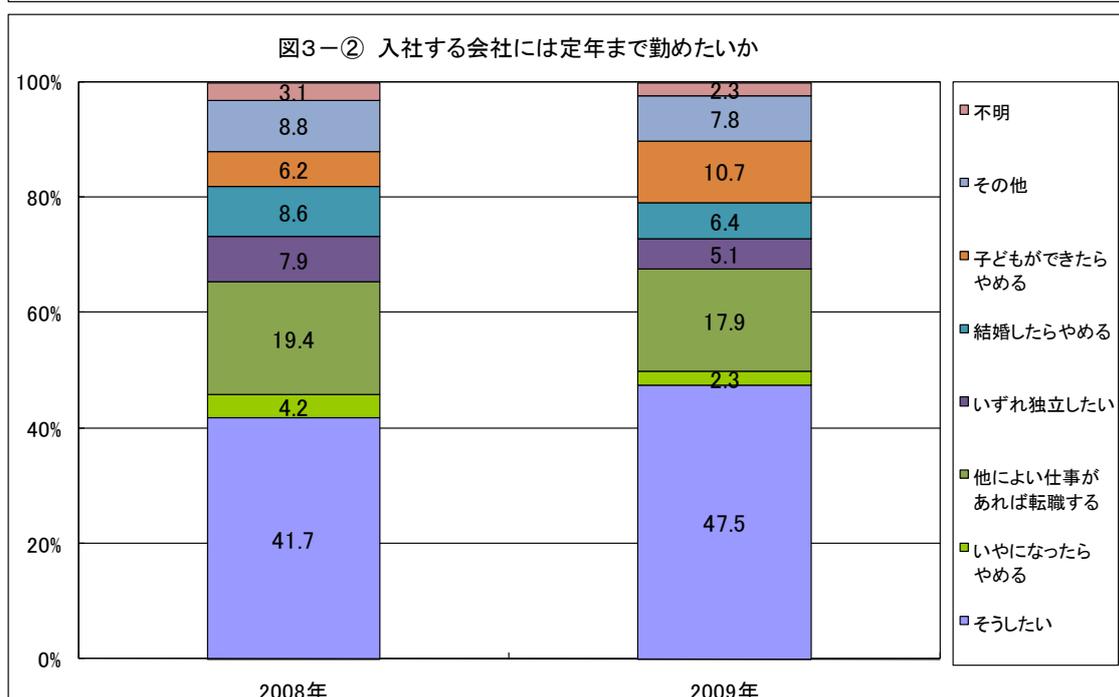
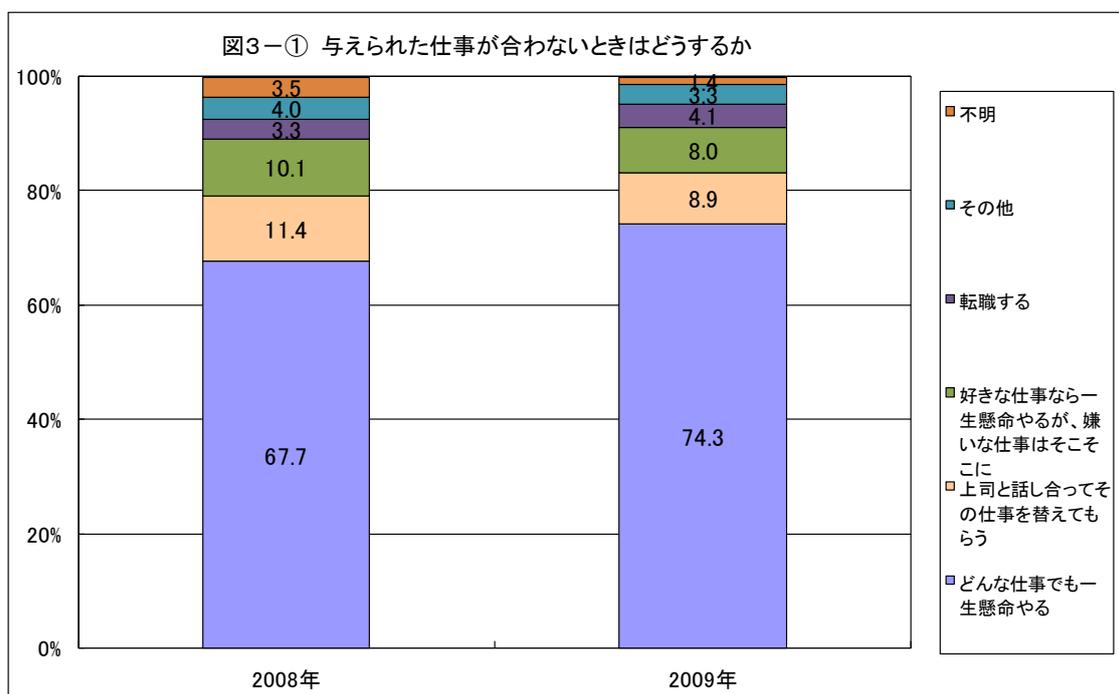
特徴のある項目としては、「責任感」が男性 17.2%に対し女性は 21.8%、「体力」は男性が 15.3%、女性が 19.4%、また「根性」については男性 10.3%、女性 14.7%と、“意欲満々”な女性の新入社員像が浮かび上がった。一方、男性は「柔軟性」「創造力」が女性に比べ高くなっている（それぞれ男性 16.0%女性 6.7%、男性 10.7%女性 6.3%）。



## 与えられた仕事は“一生懸命やる”が増加

「与えられた仕事が自分に合わないときはどうするか」との問いには、7割を超える新入社員が「どんな仕事でも一生懸命やる」(74.3%)と答え、昨年より6.6ポイント増加した(図3-①)。さらに、「上司と話し合っその仕事を替えてもらう」「好きな仕事なら一生懸命やるが、嫌いな仕事はそこそこに」との回答がわずかながら減少した(それぞれ2.5ポイント、2.1ポイント)。

また、47.5%が「入社する会社に定年まで勤めたい」と考えており、昨年の41.7%から5.8ポイント増加した(図3-②)。反対に、「いやになったらやめる」「他によい仕事があれば転職する」を合わせた回答は20.2%で、昨年より3.4ポイント減少した(それぞれ4.2%→2.3%、19.4%→17.9%)。

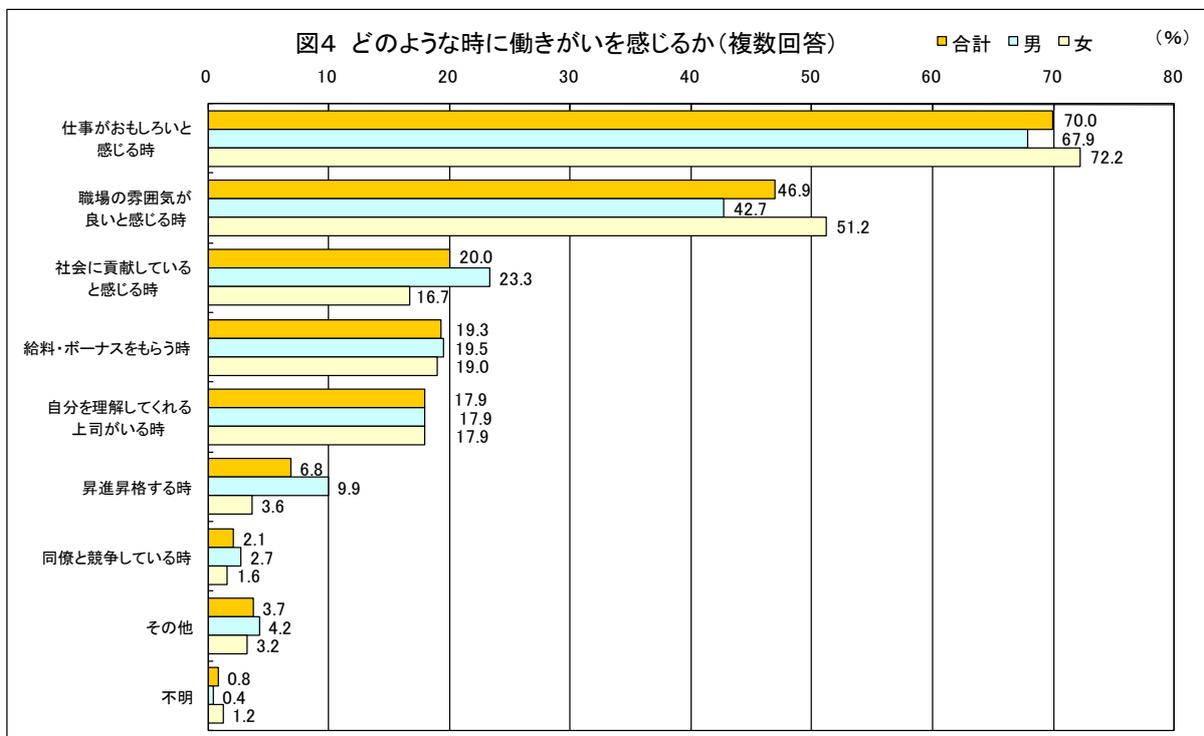


## “働きがい”は、「職場の雰囲気が良いと感じる時」が増加

「どのような時に働きがいを感じると思うか」の問いには、「仕事がおもしろいと感じる時」が70.0%で最も多く、「職場の雰囲気が良いと感じる時」(46.9%)、「社会に貢献していると感じる時」(20.0%)が続いた(図4)。

「職場の雰囲気が良いと感じる時」という回答については、男女とも昨年より増加したものの(男性32.2%→42.7%、女性47.3%→51.2%)、昨年は15.1ポイントあった男女間の差が、今年は8.5ポイントに縮小した。さらに、「給料・ボーナスをもらう時」との回答も、7.1ポイントから0.5ポイントに縮まり差はほとんどなくなった(男性27.0%→19.5%、女性19.9%→19.0%)。

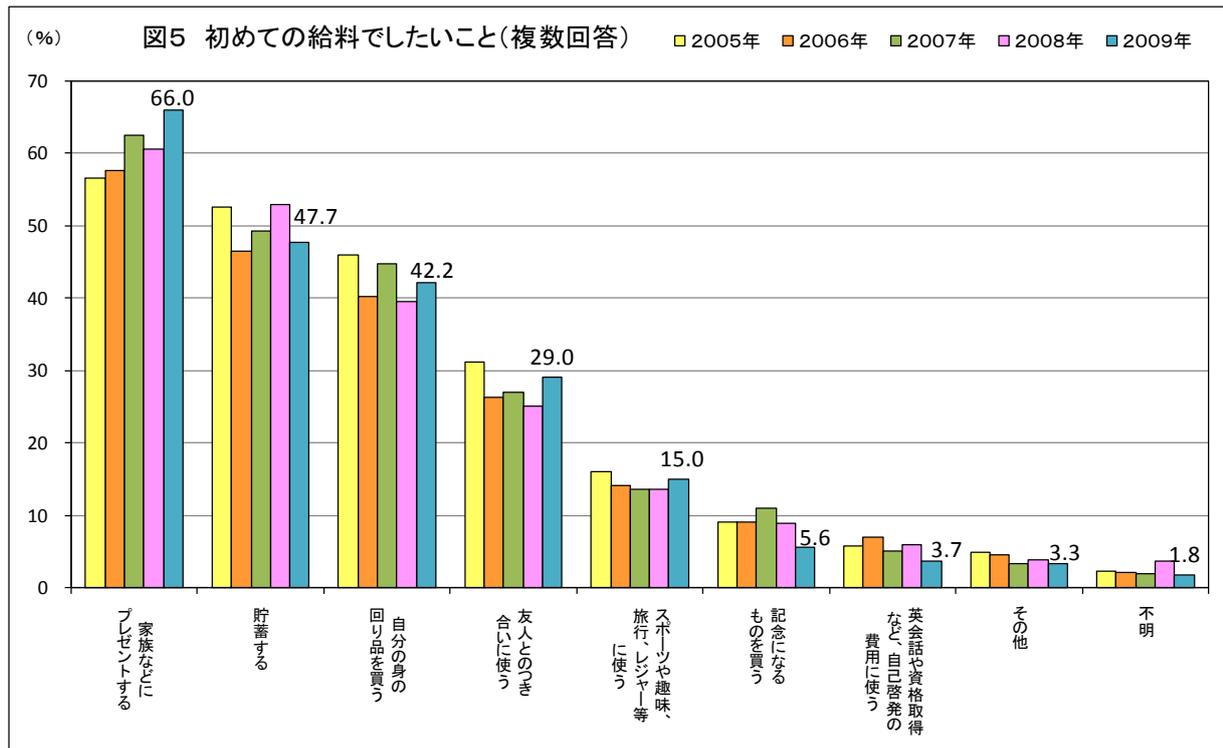
反対に、「社会に貢献していると感じる時」との回答は、男性は増加(21.1%→23.3%)、女性は減少(18.4%→16.7%)し、差は2.7ポイントから6.6ポイントに拡大した。



## 初めての給料は「家族などにプレゼントする」がトップ

「初めての給料でしたいこと」は、「家族などにプレゼントする」が最も多く（66.0%）、次いで、「貯蓄する」（47.7%）、「自分の身の回り品を買う」（42.2%）となった（図5）。

5年前の回答と比べると、「家族などにプレゼントする」が16.6ポイント増加（49.4%→66.0%）しており、年々増加の傾向にある。一方、「記念になるものを買う」との回答は例年10%前後で推移していたが、今年は5.6%と低く、“初任給”に対する意識の変化が表れているようだ。



## 理想の上司は「イチロー」「真矢みき」

「理想とする上司像を有名人に例えると」の問いには、男性の上司としては、米大リーグ・シアトルマリナーズ外野手の「イチロー」（男性44人、女性24人）が4年連続で1位。女性の上司では女優の「真矢みき」（男性9人、女性23人）が1位となった（表1）。

「その有名人を選んだ理由」を尋ねると、「イチロー」は、男性からの支持が圧倒的に高く、選んだ理由として、「率先して手本を見せてくれそう」（19人）が最も多く、「頼りになりそう」「面倒見がよく、何でも相談できそう」（ともに11人）と続いた。女性は、「目標ややり方をはっきり示してくれそう」（12人）が最も多く、次いで、「頼りになりそう」（7人）となった。

「真矢みき」を選んだ理由として、男性は「頼りになりそう」（5人）、「仕事ができそう」（4人）と続き、女性は「面倒見がよく、何でも相談できそう」（11人）、「頼りになりそう」（10人）となった。

仕事のやり方を的確に指示し、しっかりとした手本や目標を示してくれ頼りになり、仕事以外のことでも気軽に相談しやすい上司を求めているようだ。

表1 理想の上司像

男性の上司	回答数(人)	順位	女性の上司	回答数(人)
イチロー	68	1	真矢みき	32
島田紳助	32	2	和田アキ子	21
所ジョージ	16	3	黒木瞳	19
星野仙一	13	4	江角マキコ	18
明石家さんま	12	5	篠原涼子	15

## 意欲的な取組姿勢と「忍耐力」「体力」に期待

昨年の就職活動は、学生優位でスタートしたものの、終盤にきて非常に厳しい状況となり、今年の新入社員は景気に振り回される形となった。しかし、そのような経験により培われた「忍耐力」や「体力」で、与えられる仕事に我慢強く、意欲的に取り組む姿勢が期待できそうだ。

また、企業側も新入社員の能力や良さを十分引き出し、やる気を損なわないような環境づくりが必要で、目標や手本を示せる上司のもと、頼りになり何でも相談できる先輩との良好な人間関係の構築が重要になるであろう。私たちも新入社員からの新しい風を感じながら、新鮮な気持ちで日々の仕事に取り組んでいきたい。

2009年7月21日

しがぎん経済文化センター

堀 有美子